

博物館 topics

那覇市歴史博物館企画展

10・10空襲70周年記念

『那覇のまつりと10・10空襲』

戦前の那覇の祭りといえは、5月17日に行われる波上宮の例祭「波上祭」や、首里城正殿を拝殿とした沖繩神社の10月20日の例祭が有名でした。

波上祭では、御輿や稚児行列の明治橋渡御があり、境内では奉納芸能や角力大会が行われていました。沖繩神社例祭では、色とりどりの馬具で飾り立てられた馬二百頭余りが、首里城から大名の平良真地まで行進し、「馬勝負」が行われました。両祭りとも治道に出店が並び、各地から人々が集まって賑わう毎年の夏と秋の風物詩でした。

一方、琉球王国時代から続く、那覇の伝統的な行事としては、綱挽やハリー、花街として知られる「江」で行われた旧暦二十日正月の「ジュリ馬行列」がありました。那覇の綱挽やハリーは記念行事で、戦前は、那覇市上下水道開通式や波上宮復興三百年大祭などで開催されました。

これらのまつりは1931年



▲戦前の那覇の旗頭行列

那覇市歴史博物館
那覇の歴史・文化を体験！

開館時間 10 時～ 19 時 木曜休館 ☎ 869-5266

那覇市立壺屋焼物博物館イベント情報

現代沖繩縄文展「島武己」～己由南蛮～

島武己氏は1943年本部町生まれ。芸術で生きていくことを志し、17歳で壺屋の仁王窯で働き始めます。18歳で沖展の奨励賞を、19・20歳と2年連続で沖展賞を受賞し注目を集めました。22歳で仁王窯を辞め古陶磁の研究に没頭します。島氏は「焼き締めで全ての色を出せる」と言います。自身の追い求める色や線を焼き締め陶器の世界で表現する陶芸家です。今回、島氏の展示会を佐喜真美術館と合同で開催(開催期間は異なります)。当館では器を中心に島氏の作陶人生を回顧。佐喜真美術館ではオブジェを中心に展示します。

日 9月24日(水)～10月19日(日) 場 3階 企画展示室 費 無料

【関連イベント】「アーティストトーク」※島武己氏による講演会

日 10月5日(日) 午後2時から 定 50名程度 申 不要 費 無料

神原幼稚園作品展示会

神原幼稚園の園児たちが元氣いっぱい作った焼物(皿)を展示します。子供たちの笑顔あふれる作品をご覧ください。(主催:那覇市立神原幼稚園)

日 9月6日(土)～12日(金) ※最終日は午後4時まで 場 3階 企画展示室 費 無料

学芸員と展示を見よう ～常設展ギャラリートーク～

日 9月21日(日)午前10時から1時間程度

費 常設展の観覧料が必要です(市内の小・中・高校生は無料)

申 不要。当日、博物館1階受付前に集合して下さい。



▲島武己作「酒壺」

壺屋焼物
博物館

開館時間 10 時～ 18 時 (入館は 17 時半まで)

月曜休館 ※ただし、月曜が祝日の場合は開館

☎ 862-3761

FAX 862-3762

協働
さん

いらっしやい!



市民・事業者・行政が支え合う協働のまちづくりに取り組む団体、個人を紹介します。

第42回 金城秀子さん(いきいきサロンちゅら花)

地域のみなさんの「朝ごはん」と楽しいゆんたくで心と身体を健康を支える「いきいきサロンちゅら花(樋川)」。毎朝、与儀公園で運動を終えた高齢者のみなさんが朝食に訪れる人気のスポットです。

このサロンを運営しているのが協働大使の金城秀子さん。金城さんは民生委員・児童委員としても29年間活動をしており、サロンを開設していることで、地域の方が気軽に民生委員と会える利点もあるようです。

今から7年前、那覇市社会福祉協議会では、市民主体の身近な居場所づくり活動を推進する「ふれあい いきいきサロン」事業を開始しました。その第1号が「ちゅら花」です。

今では素敵な91歳の常連さんや妻の介護をしながら、その合間にいろいろな男性、または朝早くから支度を始める金城さんに会いに、明け方の暗い時間から訪れる認知症のおばあちゃん

「また来るね!」の笑顔にささえられ

ど、金城さんの温かい人柄にひかれ集う、まさに地域の居場所として「ちゅら花」は定着しています。

「二人暮らしの高齢者は同じものを食べがち。だからここで必要な栄養を補ってもらいたい」と、訪れる方々の体調や好みまで配慮し、年金暮らしの方でも利用しやすい料金で食事を提供しています。

「毎日がミミグスイで勉強になります」と楽しそうに話す金城さん。戦前戦後の那覇の話やオシャレの話し、時には歯に衣着せぬ会話もみんなで笑い飛ばし、「また来るね」と笑顔で帰っていく姿は、金城さんのやりがいにつながっているそうです。サロンは市民の方ならどなたでも利用できます。

営業は月曜から土曜までの朝8時から午後2時頃まで。



お問い合わせ

まちづくり協働推進課 ☎ 861・3846



7/27 つながる大使の輪 ～協働大使大ゆんたく会～

第7期(第1次)協働大使委嘱式が行われ、新たに21名の方が協働大使に任命され、これで協働大使の方は計552名となりました。

様々な地域と分野でリーダーとして活躍する協働大使。みなさんが結ばれることによって、新たな協働のまちづくりを創出しようと、多くの協働大使のみなさんが出席し「大ゆんたく会」が開催されました。(主催:那覇市協働によるまちづくり推進協議会)

今回、新たに委嘱を受けた那覇市自治会長連合会副会長(おもしろ自治会長)の大森文代さんは「何かを作り上げる苦労は結局「楽しかったね!」と地域共通の喜びにつながる。それがまちづくりなのかな」とまちづくりの楽しさを改めて実感した出会いとなったようです。



8/3 第20回 一万人のエイサー踊り隊

2014年夏祭りin那覇「一万人のエイサー踊り」が開かれ、会場の国際通り(さいおんスクエア～パレットくもじ前交差点)は観光客など多くの観衆で埋め尽くされました。

今年で第20回を迎える本イベントは、地域の青年会や創作エイサー団体、県内外からの個人参加者のエイサー踊り隊を含め約4000名が参加。参加者は10カ所に設けられた演舞場にて、夏の暑さにも負けず太鼓の音を響かせ、迫力ある踊りを披露しました。観衆からは大きな声援と拍手が送られました。また、熱中症対策として、「国際通り冷やし隊」のスタッフが各演舞場で打ち水を行いました。



8/12-20 南米2都市の沖縄県人 入植記念式典へ参加

沖縄県人のブラジル・カンボグランデ市入植100周年、ポリビアのコロニア・オキナワ入植60周年の記念式典に出席するため、市長及び関係者が南米を訪問しました。

ブラジル・カンボグランデ市では、県人入植100周年を記念して建立された記念碑の除幕式に参加しました。

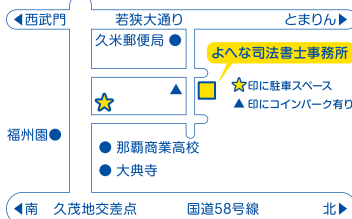
ポリビアのコロニア・オキナワでの式典には、関係者が500人以上参加。広大な密林を開拓し、度重なる自然災害で、平たんな道のりではなかった移住地建設を振り返り、先人に敬意と感謝を表しました。

翁長市長は「国籍こそ異なりますが、祖先を同じくする同胞として、未永く絆を深めていきたいという思いを強くしています。」とあいさつしました。

なは NEWS Digest なはのホットな話題は市ホームページで

司法書士が 無料で相談に応じます。

- 相続、贈与と遺言
戦争で戸籍を失っていても、判決を得て相続登記できる場合があります。家裁の手続き、遺言書作成など、ご相談下さい。
- 成年後見
多数の後見人を務める司法書士が、実務をふまえて説明します。
- 差押・仮差押・仮処分
預金、給料、売掛金、財産など、押さえたい方へ。
- 日常生活の法的トラブル
商品の代金が払われない、貸したお金を返してくれない、敷金を返してもらえない、家賃を払ってくれないなど。
- 借金に関すること
- 不動産登記
- 会社の登記や企業法務



よへな司法書士事務所

〒900-0032 那覇市松山1-30-1 2F 営業時間:午前9:00～午後6:00(土日祝休み)

http://www.souzokuyuigon-okinawa.com

☎ 0120-309-157 ※相談には電話予約が必要です。

【広告】